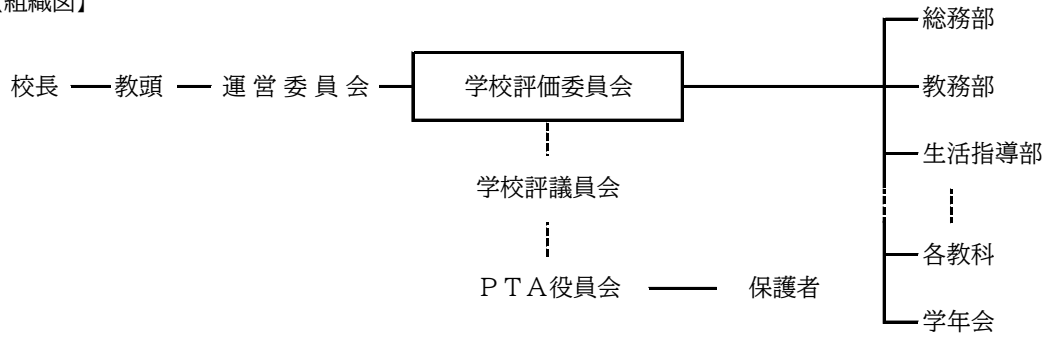


令和6年度 学校評価

(1) 学校評価のための組織  
【組織図】



(2) 学校評価の年間計画

4月	本年度の学校評価についての検討（重点目標、具体的目標、留意事項等）
5月	P T A役員会にて本年度の学校評価について報告
6月	学校評議会にて本年度の学校評価について報告
7月	ホームページに本年度の学校評価を掲載
10月	中間評価を実施（前期の取組についての検証、改善点の洗い出し）
12月	本年度の評価のまとめの作成と次年度への課題整理
1月	本年度の評価のまとめと次年度への課題を職員会議で確認
2月	本年度の評価のまとめと次年度への課題をP T A役員会にて報告 本年度の評価のまとめについて学校評議会にて報告、意見聴取
3月	本年度の学校評価（最終報告）のホームページ掲載等による情報発信 次年度の学校評価についての検討（重点目標、具体的方策、留意事項）

(3) 本年度の学校評価

本年度の重点目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 道徳教育の推進</li> <li>・ 児童生徒の発達段階及び障害特性に応じた、きめ細やかな教育活動</li> <li>・ 保護者及び地域のニーズを踏まえた積極的な情報発信</li> <li>・ 校内及び地域における特別支援教育を推進していくための教員の専門性の向上</li> <li>・ 南海トラフ地震を想定した具体的（現実的）な対応策の検証（保護者との連携）</li> </ul>		
項目(担当)	重点目標	具体的方策	留意事項
小学部	きめ細やかな教育活動	円滑な人間関係やコミュニケーション能力の向上及び定着	児童の発達段階及び障害特性に応じて、挨拶や身の回りの人との関わり方、要求や報告などのコミュニケーション能力の育成を学校生活全般を通して指導・支援する。
小学部	激甚災害への対策	防災意識の向上	児童の実態や課題を把握した上で情報を共有し、個々に応じた表現の仕方でのコミュニケーション能力が高められるようにする。 児童の将来に向けて、自発的な挨拶やお礼、要求などの重要性を意識して指導・支援する。 職員が手本となり、繰り返し指導をすることで、自発的な挨拶や要求表現の習慣化を図る。 人との関わり方について、部集会等で手本となるような各学年の事例を紹介し、児童の励みとなるようにする。
小学部	激甚災害への対策	防災意識の向上	学校や家庭での防災に関する取組や災害時に役立つような情報を家庭と共有できるようにしていく。 生活指導部と連携し、実際の防災用品に触れる機会を設定する。 備蓄食が実際に食べられるか否かを確認し、災害用の非常食としての有効性を検証する。
高等部	発達段階に応じた教育活動	生徒の発達段階及び障害特性に応じた交流及び共同学習の推進	災害や被災時に想定される生活について映像や防災用品等を活用した学習をする。 引き渡し訓練に合わせて本校の備蓄食を実際に作り、喫食する。
高等部	発達段階に応じた教育活動	生徒の発達段階及び障害特性に応じた交流及び共同学習の推進	学校間交流を中心に、地域の集団の中で交流及び共同学習に取り組む。 生徒及び職員等、関係者へのアンケートを実施し、交流及び共同学習の在り方を整理する。
総務部	積極的な情報発信	保護者ニーズを踏まえた情報発信	交流及び共同学習の実施に当たっては、間接的な交流を含め年間を通して計画し、道徳教育と関連付けて行う。 生徒の思いを大切にし、生徒が主体的に関わることができるように配慮する。 アンケートの結果を踏まえ、随時授業や活動内容の検討を行い改善する。
総務部	積極的な情報発信	保護者ニーズを踏まえた情報発信	学校だよりやもちのきP T A便り、メール等を活用し、様々な児童生徒やP T A活動の取組を紹介する。
総務部	きめ細やかな教育活動	きめ細やかな教育活動を行うための環境整備	各学年の内容が網羅できるようにしたレイアウトの年間計画を立てる。 昨年度行ったP T A活動に対するアンケートを活用し、保護者のニーズに合った事業を企画運営する。 実施の様子だけでなく、バザーの案内等もメールを活用するなどして情報発信をする。
総務部	きめ細やかな教育活動	きめ細やかな教育活動を行うための環境整備	共通教材として教育環境のニーズに合った購入計画を立てる。 意見を聴取し、児童生徒に有効に活用できる物を購入できるよう検討する。

項目(担当)		重点目標	具体的方策	留意事項
教務	道徳教育の推進	道徳の授業づくりと評価	道徳教育の視点から12年間の指導段階表や各教科等の年間指導計画を見直す。 評価の方法について周知する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科・領域会で道徳のねらいや内容項目を基に、指導段階表の見直しをする。</li> <li>指導段階表を基に、各教科等の年間指導計画に、道徳に関する内容を入れる。</li> <li>具体的な指導例を挙げ、評価の視点や方法について現職研修等で職員に周知する。</li> </ul>
	教員の専門性の向上	教員の情報機器活用力の向上	適切な機器の使い方や個人情報の管理方法を周知し、教員が安心して教育を行うことができる環境を整える。 教職員がTeamsに触れる機会を増やす。	<ul style="list-style-type: none"> <li>本校の実態に合わせて情報セキュリティポリシーを整理し、グループウェアを通して教職員に周知を図る。</li> <li>各種マニュアルの更新を行い、安心して情報機器を取り扱えるようにする。</li> <li>検索訓練や校内研修を通してTeamsの基本的な機能や使い方について共通理解を図り、実際の校外学習や検索活動で使うことができるようにする。</li> </ul>
研修	教員の専門性の向上	専門性向上のための研修の充実	研修をより進めやすくするための環境を整備する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>研修の進め方や次年度の全体計画について、校内研修に関わる校務分掌と連携を図りながら検討する。</li> <li>対象者に向けた教員サポートシステムのマニュアルの周知や中堅教諭資質向上研修のマニュアルの作成など、研修が円滑に実施できるようにする。</li> <li>初任者研修の研修内容及び研修計画を再整備し、初任者及び指導教員が研修を進めやすいようにする。</li> </ul>
	激甚災害への対策	激甚災害を想定した具体的な防災対策の強化	地震、火災を想定した避難訓練や引き渡し訓練を実施する。 保有している防災用品を公開し、使用方法を確認したり、実際に使用したりする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>正しい避難行動の定着が図られるように、繰り返し訓練を実施する。</li> <li>引き渡し訓練や授業参観などの機会に、保護者と情報共有をして協力を得る。</li> </ul>
進路指導	積極的な情報発信	進路指導に関する情報発信	進路指導に関する現況を職員や保護者に発信し、理解を深める。 各部のキャリア教育の取組を発信し、他部の取組の相互理解を深める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>ホームページやメール配信、進路だより等で職員や保護者に進路指導に関する情報や取組を発信する。</li> <li>福祉事業所や企業からの配付文書を回覧したり、校内電子掲示板で発信したりし、職員への情報発信を行う。</li> <li>各部のキャリア教育の取組を整理し、キャリア教育の系統性を視覚化する。</li> </ul>
	発達段階に応じた教育活動	けがの予防と安全管理	視覚的に分かりやすいけが予防動画を用いて正しい体の動かし方を指導する。 けがの再発防止に向けた情報発信をする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>けがを予防するポイントを押さえ、発達段階や障害特性を踏まえた効果的な指導ができるようにする。</li> <li>ヒヤリハット事例やけが情報を速やかに発信して注意喚起や情報共有を行い、けがの再発防止につなげられるようにする。</li> </ul>
保健体育	積極的な情報発信	食育の充実と情報発信	食の全体計画の活用方法及び発達段階に応じた目標を周知する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>食育に関する教材や情報を職員に発信し、各部の目標を踏まえた食の指導に取り組みやすくする。</li> <li>給食だよりなどを用いて学校で行っている食育の指導や家庭で行える食育の情報を保護者に発信する。</li> </ul>
	発達段階に応じた教育活動	児童生徒の発達段階に応じた教育活動の推進	大府もちのき版アセスメントの結果や専門家の助言を根拠とした支援・指導の実際と有効性を職員に周知する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>大府もちのき版アセスメントを行っている職員の意見や支援の実践を把握するために職員アンケートを実施する。</li> <li>外部専門家活用事業を利用した事例について、助言後の指導・支援の改善や成果を確認する。</li> <li>教務部、進路指導部と連携し、情報交換を行う。</li> </ul>
学校評議員会での評価を実施する主な評価項目		<ul style="list-style-type: none"> <li>児童生徒の発達段階及び障害特性に応じたきめ細やかな教育を行うことができたか。</li> <li>会議の精選や週計画表の見直しにより、教員個々の業務遂行の改善が図られたか。</li> <li>学校いじめ防止基本方針に基づく取組を進めるとともに、道徳教育を通して他者を思いやるなどの人権意識の向上が図られたか。</li> <li>保護者及び地域のニーズを収集し、学校運営に反映した取組を発信できたか。</li> <li>激甚災害への対応策について検証を進めることができたか。</li> </ul>		

(4) 経営管理上の問題点等

- ア 小学部・中学部・高等部の一貫性のある教育課程のさらなる整備と開かれた学校づくりの推進及び情報発信
- イ 適正な業務分担、協力意識の向上並びにICTを活用した業務改善
- ウ 特別支援教育における専門性及び根拠に基づいた指導が充実するための組織力の向上